

2009年度

科目名	宗教学講読A		
担当教員	貫名 讓		
配当	文財2・人社2	コード	54450
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	『正信偈』にみる親鸞の仏教観		
目的と概要	<p>親鸞の主著である『教行信証』は、親鸞が生涯をかけて追い求めた仏教の真髓が体系的に表されています。その中には、インド・中国・日本における祖師たちの言葉が数多く引用され、そこに独自の見解を織り込みながら、親鸞自ら書き綴っています。その中に「正信偈」という偈文があります。これは、釈尊の教えの特徴と、親鸞に至るまで、釈尊の説き示した教えが7人の祖師によって伝承されてきたことが表されています。</p> <p>そこで本講義では、「正信偈」の前半部分を通して、釈尊の思想を親鸞がどのように受け止めたのかをみていこうと思います。</p>		
成績評価法	総合評価(平常点・試験)		
テキスト	授業時に資料を配付します		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション: 講義の概略と進め方 2. 正信偈の概略 3. 無量寿如来と不可思議光仏 4. 「南無」とは? 5. 法蔵菩薩と阿弥陀仏 6. 法蔵の願い 7. 「南無阿弥陀仏」(名号)に込められた意味 8. 仏の様子とはたらき 9. 阿弥陀仏の願いの中心 10. 「すべてのものを救う」仏 11. 釈尊と阿弥陀仏の関係 12. 煩悩を断たずに涅槃を得ることができる? 13. 信を獲るとは? 14. よろこびの心 15. まとめ 			